

内 財
令和8年4月21日

各 部 局 長 様

財 務 部 長

健全財政の確立に向けた令和9年度当初予算
編成における枠配分の導入について（通知）

令和8年3月23日庁議資料「今後の市政運営について」において示された「財政状況の改善」の方針のもと、下記のとおり中期財政収支見通しを全庁で共有するとともに、令和9年度当初予算編成において、「一般財源枠配分方式」を導入します。持続可能な財政運営に向け、各部局の協力をお願いします。

（財政課）

記

1 背景・目的

本市の財政状況は、社会保障関係経費の構造的な増加や大型の投資的事業の集中などにより、令和9年度以降さらに厳しさを増し、このままでは令和10年度当初予算編成時点で財政調整基金が枯渇する見通しとなっています。

こうした状況下において、持続可能な財政運営と「未来への投資」を両立させるためには、事業の「選択と集中」が不可欠です。各部局において、事業評価の徹底とともに、ゼロベースで既存事業の見直し（スクラップ）と再構築（ビルド）を進め、限られた財源を真に必要な施策へ重点化する必要があります。

このため、令和9年度当初予算編成においては、「一般財源枠配分方式」を導入し、部局主体での事業見直しと効率的・効果的な予算配分を進めることとします。

2 中期財政収支見通し・今後見込まれる主要事業

別紙のとおり

※中期財政収支見通しは、令和8年度当初予算、主要事業調査等を基に試算。

※主要事業は、国・県支出金を除く事業費が1億円以上の臨時的事業を抽出（実施未確定事業を含む）。

3 当初予算編成における一般財源枠配分方式

主要事業の全庁調査や各部ロジックモデルの見直し点検、政策レビュー（市長面談）等を通じて、事業の方向性や事業費の増減要因等を整理し、最新の中期財政収支見通しを踏まえて、部局単位で一般財源の枠配分を設定します。配分された「枠」の範囲内で予算要求を行うこととなりますので、枠を上回る要求については見直しを依頼します。このため、各部局におかれましては以下の観点から事業の整理を進めてください。

①市民目線の観点

今、最も必要とされている市民サービスは何かを整理し、ゼロベースで業務を再構築すること。その上で、既存事業と再構築事業を「継続・見直し・廃止・新規（既存事業の見直し又は廃止前提）」の観点から比較検討し、事業の整理を図ること。

②効果・必要性の観点

令和7年度における事業実績及び事業成果を確認のうえ、事業の優先度を判断すること。

③手法・実施方法の観点

慣例的・定例的に実施している事業について、実施回数、対象範囲、実施方法を見直し、効率化を図ること。

④事業費の観点

単価、数量、委託範囲、イベント規模等を再点検し、事業費を精査すること。

⑤代替可能性の観点

類似事業や他部局との重複がある場合は、統合や一本化を検討すること。

⑥補助金等適正化の観点

「補助金等の適正化に向けた財務部長・財政課長点検結果について（R7.12.25）」を踏まえ、点検結果を参考にし、補助金等の適正化に向けた検証及び見直しを行うこと。

※具体的な運用方法は、今後実施する調査通知、予算編成通知にて別途示します。

4 今後のスケジュール（予定）

- 5～6月 全庁調査（主要事業、事業費増減）
- 7月 政策レビュー（市長面談）（政策推進課から詳細通知）
- 8～9月 中期財政収支見通し報告、一般財源枠配分額の調整
- 9～10月 予算編成方針通知、予算要求
- 10月以降 予算審査・市長査定

問い合わせ先

財政課 財政係
担当：吉田、関口、剣持
(内線3542、3543)